

令和7年度 学校経営シラバス

校訓	志高く真理求める智者となれ	学校教育目標 (めざす生徒像)	新しい価値を創造し、未来を切り拓く人材を育てる 1 自ら考える力と学ぶ意欲を身につけ、自己実現を目指す人 2 倫理観、公共心や思いやりの心を培い、地域に貢献しよう人 3 自ら鍛える心をもち、強健で気力ある人
----	---------------	--------------------	--

1 経営理念

○ 地域社会における使命＜本校のミッション＞

砂川市及び関係機関との強固な連携を背景に、砂川市唯一の高校として市内小中学校と共に教育の質の確保・向上に努め、社会規範に基づく自律ある市民の育成を目指し、地域の負託に応える教育を推進する。

○ 使命の具体化への考え方＜本校の教育ビジョン＞

生徒に自己肯定感、本校教育での成就感、学校・地域への帰属感を持たせ、関係機関との連携による教育の質の確保・向上に努める。

- 1 生徒の学習実態を的確に捉え、小中学校との連携の中で教科指導の工夫・改善に努めるとともに、自ら学び、探究する態度を育成し、協働して課題解決に向かう意欲の喚起に努める。
- 2 生徒との対話を重視し、合理性のある指導のもとで、校内外における基本的な生活習慣の確立を図る。さらに規範意識を高め、自律した行動の確立をとおして、自分で考え主体的に高校生活に取り組む態度の育成に努める。
- 3 生徒が自己理解を深め、適切な職業観・勤労観を身に付けるために、関係機関との連携・協力体制を活用し、ジョブスタ事業・インターンシップ事業等の効果的な実施や進路ガイダンスの充実などキャリア教育の工夫・改善に努める。

2 本年度の学校経営戦略

○ 教育活動

項 目	中 期 目 標	今年度の重点目標	目標達成のための評価の観点
学 習 指 導	主体的に学ぶ意欲の向上と確かな学力の育成	①生徒一人一人の能力・適性を踏まえた基礎基本の確実な定着、自ら学ぶ意欲・態度の育成 ②生徒の実態に応じた教育課程の編成、学習環境の整備	・生徒の実態を的確に把握し、基礎基本の定着を目指す授業の質の保証と授業時数確保がなされたか。 ・校内外での研修を深め、学習意欲を高める授業内容や方法の工夫・改善及び学習評価がなされたか。 ・家庭での学習習慣の確立に向けた取組がなされたか。 ・単位制の特色を生かした教育課程の編成を推進し、進路希望を踏まえ、選択授業や少人数指導等の有効活用がなされたか。
生 徒 指 導	社会規範に基づいて判断し行動できる自律した人間の育成	①合理性のある指導のもとでの基本的な生活習慣の確立 ②規範意識や他者理解への意識を高め、自律した行動の確立 ③生徒の創意工夫を生かしたホームルーム活動、生徒会活動の推進	・生徒との対話を重視して、基本的な生活習慣の確立が図られ、各々の自律ある行動によって、校内規程の改廃が進められたか。 ・教育相談機能を充実し、いじめや差別を見逃さない組織的な対応が適切になされたか。 ・主体的なホームルーム活動、生徒会活動、委員会活動、部活動を促し、地域とも結び付いた活動の充実が図られたか。 ・飲酒運転防止運動の地域への啓発活動が、交通安全の意識や規範意識の向上につながっているか。
進 路 指 導	自ら進路実現を成し遂げようとする意識と行動する力の育成	①内発性を高め、進路実現を目指し常に挑戦しようとする意志を育む。 ②望ましい職業観、勤労観を身に付け、自己理解を深め、能力・適性を把握し、将来を積極的に考え、自ら解決する能力の育成	・関係機関の協力を活用して、3年間を見通した進路指導計画の策定と多様な進路希望に対応した進路指導体制づくりがなされたか。 ・適切な進路指導を行うための資料収集や地域人材・教育力の有効活用によって進路ガイダンスの充実がなされたか。 ・講習の在り方の工夫・改善、スタディーサブリ等の有効活用等、学力向上を基盤とした多様な進路の保証がなされたか。 ・インターンシップやジョブスタ事業等の円滑な実施により、適切な職業観・勤労観を育成するキャリア教育が推進されたか。
健康安全指導	心身の健康及び学校安全、環境美化意識の育成 新型コロナウイルス感染予防対策	①生徒自身が健康的な生活を送る自己管理意識の育成と教育環境の整備の推進 ②教育相談活動、特別な支援を必要とする生徒への支援の推進	・健康を主体的に考えさせるために、保健だよりの活用、保健講話の実施などの啓発・指導は効果的になされたか。 ・生徒の健康状況の把握と健康の保持増進に向けた適切な指導、感染予防対策、教育環境の整備がなされたか。 ・全校的な教育相談体制の構築と実施がなされたか。 ・特別な支援が必要となった生徒へ対する組織的対応がなされたか。

○ 学校運営

信頼される学校づくり	開かれた学校づくりと地域の負託に応える学校づくりの推進	①開かれた学校づくりに向けた校内体制の検討 ②地域の負託に応える学校づくりの推進と地域との連携の強化	・単位制の魅力や生徒の活動を周知するために、印刷物の発行、Web や各種メディア等を活用した広報活動は効果的になされたか。 ・PTA 活動は活発になされたか。 ・学校評価の実施と結果を公表する等、説明責任は果たされているか。
組 織 運 営	学校課題の共有及び課題解決に向けた協働体制の確立	学校課題の共有及び課題解決に向けた円滑な協働体制の確立	・教育の動向の把握や学校経営についての課題意識涵養のための情報提供、研修の推進がなされたか。 ・効率的な各分掌や委員会組織が効率的かつ機動力を十分に発揮するための業務内容の検討がなされたか。
教職員の資質の向上	全職員一人一人が資質向上をめざし、その活力を結集させ学校力の向上を図る	学校の教育活動を推進させる活力ある教職員集団の構築	・教科指導力の向上をめざす校内研修の推進と、市内小中学校との連携を推進し、授業改善・学習評価の研究を深められたか。 ・教職員の働き方改革に、具体的効果が認められたか。 ・服務規律厳守の啓発のため、日常の情報共有がなされたか。